【令和8年度】 エシカファーム　ガイドライン評価改善シート

事業所名：　NIHOアルテ

作成日：令和8年　9月28日

本部	代表	施設長
田中	風間	山本

前年度　施設目標	前年度の改善への取り組み	・保護者会の開催及び情報の開示の改善。 ・活動エリアや内容の再検討と実践。 ・支援計画に関するプロセス、職員間での勉強会・ミーティング等の体制整備。
	前年度の施設目標 （支援方針）	ひとりひとりが活動しやすく、より個別化した支援が提供できる環境を整え、個別化をベースに自立と般化を重視した支援を展開する。

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上で相違点
環境・体制整備	環境的には概ね特性に合わせたエリア分けができている。	エリアの組み替えや支援スキルなど質的な面での検討。
業務改善		スペースや職員配置は、建物の広さやスタッフ数などのハード面的な課題
適切な支援の提供	活動プログラムの固定化、個別化・般化・柔軟性の部分でバリエーションが乏しい。地域の他の子供との活動機会への取り組みは弱い。	現状でできる範囲での特性に合わせた計画と支援は展開できてきている。ただ、まだ部分的で途上にすぎない。
関係機関や保護者との連携		協働支援者としてのご家族との連携は足りない印象。
保護者への説明責任等	相談や申入れについて、対応の体制が整備、周知・説明、対応は弱いか。	ペアレントトレーニング及び相談機能の充実と情報提供不足。
非常災害等への対応	避難訓練状況や体制の周知がどこまでできているのかあいまいな部分がある。	事業所内での取り組みにおいても随時周知していく必要がある。
支援プログラム		より専門性に基づいた根拠のある支援を提供できるよう努力が必要。

事業所の強み	事業所の改善点
・LINEWORKSやHUGを活用した情報提供と情報開示システム、密な連絡調整が可能になっている ・法人として研修体制が充実、柔軟に学ぶ体制や姿勢が備わっている ・外部コンサルテーションの活用による専門的な支援の提供 ・迎えの際など、日常的に保護者をリアルタイムで顔をあわせて意見交換できる機会がある他、事業所解放日を設けることで意見交換及び事業所内の様子確認ができる機会がある。	・ペアレントトレーニングや相談、協働支援者としての家族との連携等が数年間にわたり開催されていない状況がある。 ・特性に合わせた個別支援、特に自立と般化・柔軟性の視点を強化。 ・日常的な活動や事業等の情報の開示。

評価を行っての事業所としての感想など

・保護者会やオープンNIHOデイ（事業所解放日）の開催など、計画的に行っていることは評価できるが、より内容の洗練が必要。
・将来に向けた個々の経験の機会や学びを意識し、保護者とも相談しながら個別支援を進めていく。
・相談体制やペアレントトレーニングを意識した企画や情報提供が必要か。

今年度　施設目標	改善への取り組み	・事業所内での取り組みなどの情報の開示。 ・ペアレントトレーニング、相談体制を意識した取り組みの整理。 ・支援計画及び体制の整理。
	施設目標 （支援方針）	個々の特性と発達及びライフステージを意識して、将来を見据えた学びと経験の機会を提供する。